

○園からのお知らせ

- ・ 登園、降園の際に掲示をご確認下さい。
園内のお知らせは玄関の掲示板に、各クラスのお知らせは各クラスの掲示板に掲示しています。
- ・ 園のHPに必要な書類や保育計画等を載せています。
HPからDLできる書類:与薬申請書・登園届・医師意見書・経過報告書(保護者記入用)
病児病後児保育室利用書類一式
- ・ 園から発行するおたよりや連絡事項はらくらくメールで通知します。配布物がある際はウォールポケット(つくし組~すみれ組)、またはおたより袋(ゆり組・ばら組)に入れてお渡ししますので、毎日確認してください。

○教育・保育にご協力ください

- ・ 『みどりこども園を利用される皆様へ』の冊子をお読みになり、園の保育方針をご確認ください。
- ・ 体が小さな子ども達にとって気温の変化は大きな影響を及ぼします。
暑くなり始めや寒くなり始める季節は、慎重な健康観察が欠かせません。
特に熱中症が心配な季節は、毎朝環境省が発令する『熱中症危険アラート』の指数と実際の園庭の気温を基に戸外に出る時間を加減しています。
- ・ 4・5歳児になると園外に出掛ける機会が増えていきます。その際は必ず保護者の方の参加意向を確認しております。
園外保育中にお子さんの具合が悪くなったり、怪我をして手当てが必要になったりした場合は保護者の方に現地までお迎えに来ていただくようお願いしております。
園外保育に出掛ける前に平熱より体温が高い、体に発疹などの異常があることを確認した場合は保育教諭の判断で園外保育への参加を中止することがあります。園に残ってお子さんを保育することが困難な場合は保護者の方へお迎えを依頼します。
- ・ 7月頃より水遊びが始まります。大きなプールでの活動は排泄の自立を目安に始めます。安全に水遊びが行えるよう、以下のことに取り組みます。
 - イ) 毎朝9:00に水温と気温を測定する
 - ロ) あそびや世話をしない監視役を設け、子どもの動きを見守る
 - ハ) 子どもの心身の状態、朝食喫食状況、睡眠時間を確認するニ) 保護者による毎朝の水遊び活動参加可否決定
これらのことが実施できない場合は水遊びを中止します。
- ・ 水遊びの期間中は毎日保護者の方に水遊びをする意思を示していただきます。これが確認できない場合は実施いたしません。水辺では一瞬の出来事が命に係わります。ご理解ください。

○こども園の給食

[食事を通して生きる力を育む]

- ・ 給食日よりでは、1か月の献立と使用する食材について掲載しています。
お子さんにとって『まだ食べたことがない食材』が含まれていないか必ずご確認ください。お子さんが人生において初めて口にする食材は、保護者の方が見守り食べた後に口の中や体に異変が起きないかどうか観察してください。
園の畑で採れた野菜や、戴いた食材を用いて食育活動を行うこともあります。
事前に掲示等を通じてお知らせいたしますので、ご確認ください。提供日前日までに必ずお家でご試食ください。
- ・ 園で提供する給食は主に6段階です。
 1. 離乳初期
 2. 離乳中期
 3. 離乳後期
 4. 離乳完了食
 5. 幼児食
 6. 食物アレルギー（乳・鶏卵）除去代替食
※乳・鶏卵以外の除去（小麦・大豆等その他の食品に対する食物アレルギー、宗教上または体質による理由）につきましては持参食となります。
詳細は別途ご説明致します。
- ・ 哺乳行為の大切さについて、自園では次のように捉えています。

不足しがちな栄養素の補給・心理的安心感（心地よさ）・ 口腔機能の発達・手と目の協応運動
--

入園後環境の変化により、人工乳での哺乳が進まないことがあります。子どもの様子に合わせてタイミングを図ったり、他の方法を探ったりすることで改善を目指します。
- ・ 入園時にお渡しする食材チェックリストが進みましたら、担当職員にお声掛けください。まずは『もぐもぐごっくん』を目指して、離乳食を始めます。
揚げ物は一歳半を目安にお試ください。
- ・ 手づかみ食べは、子どもにとって大事な手段です。園では存分に経験できるよう見守っています。食具について理解が始まり、言葉の理解や社会性の育ちも芽生えてきた頃から少しずつ手づかみ食べを卒業しスプーンを使った食事に移行していきます。
- ・ 子ども達が食事の準備に携わる事を大切にしています。手を清潔にする・身支度を整える・自ら食卓に向かう等食事に必要な準備が分かることや、食後に手・口の周りをきれいにしたり使ったものを片付けようとしたりする姿まで、丁寧に一つひとつを繰り返し伝えていきます。年齢が小さい子どもであっても必ず意欲を示してくれます。
子どもの意思を確認しながらサポートしています。

- ・ 4・5 歳児になるとランチルームを使用し食事をします。自ら遊びに区切りをつけてそれぞれのリズムで食事をします。午睡の必要時間もそれぞれ異なるので、お昼寝から目覚めた子からランチルームに向かいおやつを食べます。
- ・ 『健康で豊かに暮すこと』を願い喜ぶ、日本の5節句(節供)を大切にしています。

主な 行事食	5月…端午の節句	1月…人日の節供(七草がゆ)
	7月…七夕の節句	2月…節分
	9月…重陽の節句	3月…上巳の節句
	12月…正月(おせち)	

節句にちなんだ季節の恵みを中心とした行事食を戴きます。

[食事に関する悩みについて]

- ・ 「野菜を全然食べない」「うちの子の体格や育ち具合が心配。」「食生活はどうしたらいいの?」等、食事に関する悩みにはいつでも一緒に考えます。お気軽にご質問下さい。

[食物アレルギー等、いろいろな症状への対処法をお知らせください]

- ・ 自園が作成する『除去食提供マニュアル』に従い、除去代替食の提供または持参食対応を行っています。
- ・ 個人により症状や対処法が異なりますので、主治医からの指示を担当保育士に教えてください。
- ・ 食物アレルギーによる食事対応の決定には、『保育施設におけるアレルギー疾患生活管理指導表』の提出が必要となります。『保育施設におけるアレルギー疾患生活管理指導表』を参考に今後の対応を相談していきましょう。
- ・ 経口負荷をされる場合は、登園の2時間前は避けて実施してください。
食べ物は摂取した後、2時間半が消化のピークです。食べたものが消化されるまでの間は保護者の方がお子さんの様子を観察してください。経口負荷を実施していることを記録しましょう。毎日記録を付け、園にご持参ください。
- ・ 『全身の状態が良く、普通食が食べられ、一定時間眠れる状態』が登園の目安です。食事内容の変更が必要な時はお子さんの体に療養が必要な時です。食事内容を変更する、量を減らす、特定の食材を取り除くことはできません。

○日常を丁寧に見守る保育の実践

一人ひとりの子どものリズムに合わせて生活出来ること、子どものタイミングに合わせて応答してあげる事、毎日の生活が変わらず安定していることは子どもの心に安心を育みます。安心が育つと、こどもは色々な事に興味を伸ばし経験していくようになり社会の中で沢山の事を感じて学んでいきます。

子どもの安心を保障する為、0・1 歳児クラスでは育児担当制保育を実施しています。やがて子どもは、自ら関わる人やモノを広げていきます。2 歳児・3 歳児と経験を繰り返し、徐々に生活習慣を確立していき、4・5 歳では学びに向かって探求心が深まっていきます。

『自分で出来ることは自分でする』

『手伝ってもらいながら自分の気持ちをコントロールする』

大人が手を掛け過ぎず、子どもの意欲に寄り添って見守る保育を実践しています。